

令和7年度  
熊本県高校魅力化コンソーシアム状況報告

矢部高校魅力化コンソーシアム  
(山都町/矢部高等学校)

# 1. 高校魅力化コンソーシアムの紹介

コンソーシアムの名称：矢部高校魅力化コンソーシアム  
構成する市町村／学校：山都町／矢部高等学校

## ①学校の概要

住所：熊本県上益城郡山都町城平954

電話番号：0967-72-0024

課程：全日制課程

学科・コース：食農科学科、林業科学科、普通科学級数・生徒数：11学級・123人

学校の特長：地域資源を教材とした探究的な学びと、少人数環境を活かした個別最適な学びの推進。

学科・コースの学びの特長：地域をフィールドとした探究活動。

現状・課題：林業科学科の入学者数が回復傾向。3学科の学びを一体的にPRし学校全体のさらなる魅力向上を図る。

## ②市町村の概要

面積：544.8km<sup>2</sup>

人口：12,413人（令和8年2月末）

人口密度：22.7人

### 町の紹介

山都町の北部は阿蘇南外輪山、南部は九州脊梁の山々が連なる自然豊かな土地です。居住地域は300m～900mに位置し、夏は涼しい反面、冬には降雪もある準高冷地です。科学的に合成された肥料や農薬を使用しない有機栽培生産者が多く、「有機農業発祥の地」と呼ばれています。町のシンボルである通潤橋が令和5年9月に国宝に指定され、高速ICの開通も相まって、多くの観光客が訪れるようになりました。

### 町の課題

直近の資料では、65歳以上の高齢者の割合が53.1%となっており、また、今年度の出生数が町全体で30名程度の予想であり、少子高齢化が深刻な状況です。

広域な町であり、子どもの通学や高齢者の移動手段の確保が大きな課題です。

## 2. コアチームの体制（コーディネーター、高校職員、市町村職員等）

高校魅力化コンソーシアムの立ち上げに関わる主なメンバー（コアチーム）

所属	役職／肩書	コアチームにおける担当・役割
山都町教育委員会 生涯学習課	係長	本事業主管課、庁内調整、 既存団体対応
矢部高等学校	教頭	進捗管理、校内調整
一般社団法人フミダス	代表理事	企画・立案、折衝、運営
一般社団法人フミダス	次世代教育マネージャー	運営、実務

### 3. コンソーシアム設立の目的と背景、今後のビジョン

山都町に2校あった県立高校のうち、蘇陽高校が統廃合したことを契機とし、矢部高校と地域が一体となって更なる魅力ある学校づくりを進める協働体制づくりを行なうことなどを目的として、山都町では関係機関（同窓会、育友会、PTA連絡協議会等）及び地域住民からの公募等により矢部高校応援町民会議という組織を、平成27年に設置しました。

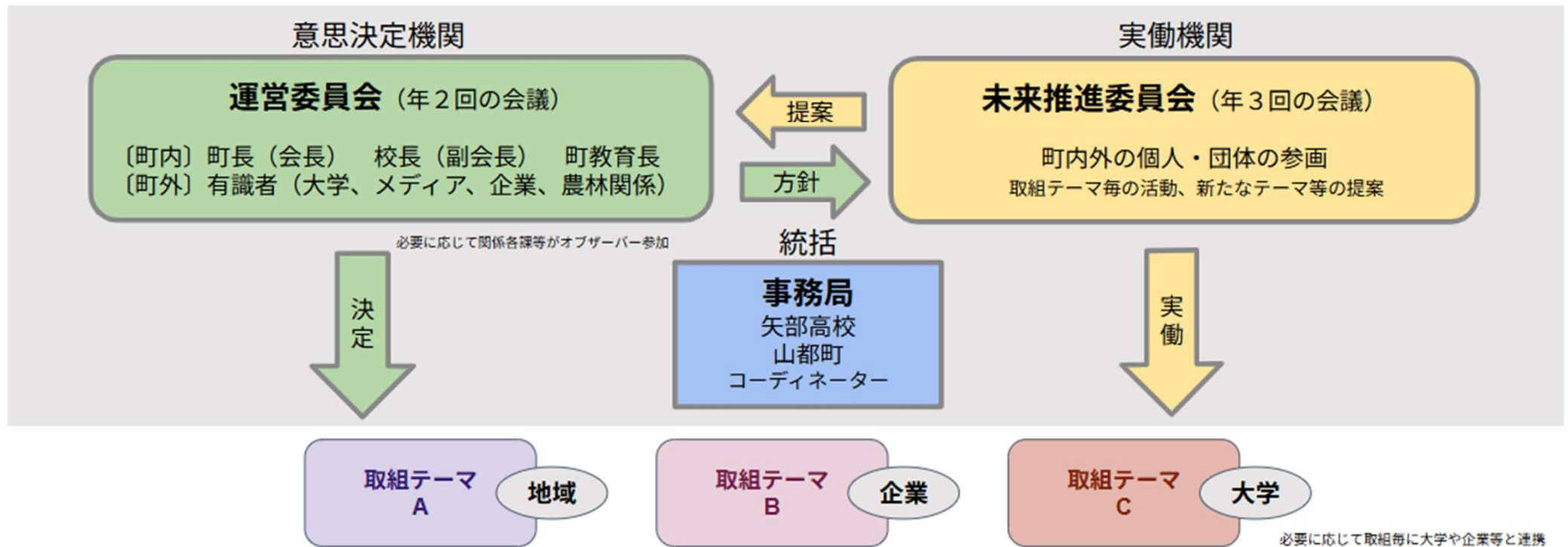
町民会議ではこれまで、矢部高校魅力化のためにコーディネーターを設置することや地域みらい留学に参画することなど、矢部高校を応援するためにさまざまな取り組みを行なうことが決定され、町としても支援することで矢部高校の魅力化や入学者確保のために一定の成果を挙げてきたところです。

しかし、近年では、地域の少子化も加速する中で町民会議において高校存続のために入学者の確保が必要であることは示されながらも、新たな取り組みや具体的な方策が出ない状況が続いており、新たなアイデアの創出や寮建設に向けた足がかりとなるべく、より専門的な分野から委員を選出し、コンソーシアムの設立を計画しました。

今後のビジョンとしては、各委員の専門的な知見を活かしながら、高校の魅力化による入学者の確保、町外生徒の生活の基盤となり、併せて地域活性化のための交流拠点としての寮の建設に向けた取り組みを加速させたいと考えています。

# 4. 高校魅力化コンソーシアムの組織体制

## 矢部高校魅力化コンソーシアム



# 5. 取り組んでいることリスト（項目別）

## ① コアチームの体制づくり

- ・ 月1回の打合せ
- ・ 迅速な情報共有

## ③ コンソーシアムによる事業の実施

- ・ 生徒、職員（学校・町）対象の講義（R8予定）

## ② コンソーシアムの体制づくり （ステークホルダーの発掘・巻き込み等含む）

- ・ 組織体制の検討
- ・ 委員の選定
- ・ 規約の検討、作成
- ・ 顔合わせ・目線合わせを兼ねたアイディアブレ  
ストワークショップの開催
- ・ 関係各所への説明

## ④ リソース（ヒト・モノ・カネ）獲得、その他

- ・ 助成金への申請

# 6. コーディネーターの業務とスケジュール

CN氏名：一般社団法人フミダス

## (1) 主な業務とその割合

地域と関わる教育活動の支援	20%
地域・外部との連絡・調整	10%
広報活動支援	20%
組織体制の構築・運営	40%
大学・民間等との連携協働	10%

## (2) おおまかな1週間のスケジュール

1週間のスケジュール	
月	校内活動 ..... 授業の準備・先生との連絡調整
火	広報活動 ..... 広報MTGに向けた資料作り
	広報活動 ..... デザイナー・カメラマンとの連絡・打ち合わせ
水	コンソ ..... 運営会議に向けた資料作り・委員への連絡等
木	校内活動 ..... 5限：総合的な探究の時間
	体制構築 ..... 16時：総探に関する打ち合わせ
金	コンソ ..... 14時：コンソーシアム事務局打ち合わせ
	広報活動 ..... 16時～：広報に関する打ち合わせ



図5：高校と地域をつなぐコーディネート機能の位置づけ

## 7. 令和7年度スケジュール（活動報告）

活動日	内容
5月29日	第1回コアチーム打合せ
7月3日	第2回コアチーム打合せ
8月19日	第3回コアチーム打合せ
9月25日	第4回コアチーム打合せ
10月21日	運営委員代表予定者とコアチームの事前打ち合わせ会議
10月28日	第5回コアチーム打合せ
11月26日	第6回コアチーム打合せ
12月23日	第7回コアチーム打合せ
1月16日	個別テーマに係る打合せ（1回目）
1月22日	第8回コアチーム打合せ
1月29日	コンソーシアム アイデアブレストワークショップ
2月12日	第9回コアチーム打合せ
2月20日	個別テーマに係る打合せ（2回目）
3月9日	個別テーマに係る打合せ（3回目）
3月13日	第10回コアチーム打合せ
3月26日	令和7年度第1回コンソーシアム会議（運営委員会）

## 8. 令和8年度スケジュール（活動予定）

- 4月13日 コンソーシアムに係る講話①（生徒・職員）
- 4月24日 コンソーシアムに係る講話②（生徒・職員）
- 5月中旬 コンソーシアムに係る職員研修
- 6月 令和8年度第1回コンソーシアム会議（運営委員会）
- 3月 令和8年度第2回コンソーシアム会議（運営委員会）

# 9. 今年度のまとめと次年度への展望（項目別）

	①コアチームの体制づくり	②コンソーシアムの体制づくり
A.目標や取り組む中で見えた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標：月1回以上の打合せによる情報共有と年度内のコンソ設立</li> <li>・ 課題：特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町外からの新たな風を吹かせつつ町内の理解者を増やす取組が必要</li> <li>・ 未来推進委員会（実働機関）が固まっていない</li> </ul>
B.Aに対する具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回の打合せ</li> <li>・ ドライブや共同編集を活用した情報共有と効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係各所へのコンソについての説明（町民会議、学校運営協議会、育友会総会）</li> <li>・ 具体的な取組の決定後に実働方法について検討</li> </ul>
C.取組により得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度内のコンソ設立</li> <li>・ 円滑な情報共有</li> <li>・ フォロー体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンソーシアム設立への認知度向上</li> </ul>
D.残された課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内、校内への情報共有、共通理解（当事者意識の醸成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内への周知活動</li> <li>・ 未来推進委員会のあり方の具体化</li> </ul>
E.今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員による庁内、校内への研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町広報誌への掲載</li> <li>・ 学校ホームページへの掲載</li> <li>・ その他広報活動</li> <li>・ 未来推進委員会についての検討継続</li> </ul>

# 9. 今年度のまとめと次年度への展望（項目別）

	③コンソーシアムによる事業の実施	④リソース（ヒト・モノ・カネ）獲得、その他
A.目標や 取り組む中で 見えた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンソの継続的な活動資金が必要</li> <li>・ コンソへの庁内での理解</li> </ul>
B.Aに対する 具体的な 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金についての検討</li> <li>・ 他業務との調整</li> <li>・ 当事者としての理解を深める</li> </ul>
C.取組により 得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のところなし</li> </ul>
D.残された 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンソの継続的な活動資金をどのように調達するか</li> <li>・ 安定した協力者の確保</li> </ul>
E.今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県教委への継続的な予算配分の要求</li> <li>・ 助成金への申請</li> <li>・ その他の方策を探る</li> </ul>

令和7年度は未実施

# 10. 次年度に向けて課題、今後の展望（学校、市町村別）

	学校	市町村
課題と感じていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアムの取組方向性等についての職員の理解を深め当事者意識を持たせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実働となる委員会が大きな組織となることが予想されるため、関係課職員の理解並びに協力体制の構築及び主管課担当職員の業務負担が課題であると捉えています。</li> </ul>
次年度への目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者数50人以上</li> <li>・学科横断型の探究活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアムに対する関係者の連帯感の醸成</li> </ul>
具体的に取り組みたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアムの方向性を軸とした3学科の取組の整理</li> <li>・3学科の学びを一体化したブランディング</li> <li>・普通科の特色化</li> <li>・町内への情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実働となる委員会の人選</li> <li>・喫緊の課題である寮建設に向けた検討</li> </ul>

# コンソーシアム立ち上げに向けた実践事例①

## タイトル：アイデアブレストワークショップ



### ◆背景・取り組みの概要

- ・ 運営委員の半数が町外在住
  - ・ 協議の前提となる高校や町への理解が必要
  - ・ コンソの取組方向性について大まかな認識の共有を図っておきたい
- ⇒関係者の顔合わせを兼ねたWS開催

### ◆参加者/対象者

コンソ運営委員予定者、山都町関係課、学科主任、コアチーム

### ◆CNとしての関わり

企画・調整・運営

### ◆実施の結果・成果

- ・ 運営委員の高校、町への理解深化
- ・ 関係者の意欲向上
- ・ 学科主任のコンソへの理解深化

### ◆得られた知見・ノウハウなど

- ・ 多様なアイデア